

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2001-520663(P2001-520663A)

【公表日】平成13年10月30日(2001.10.30)

【出願番号】特願平10-544901

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 31/10

【F I】

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 31/496

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 换 正 書

平成16年4月30日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第544901号

2. 换正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 ジヤンセン・ファーマシューチカ・ナームローゼ・フエン
ノートシャツブ

3. 代理人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日本自転車会館

氏名 (6078) 弁理士 小田島 平吉

電話 03-3585-2256

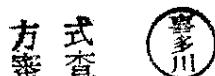


4. 换正命令の日付

なし (自発換正)

5. 换正の対象

「請求の範囲」及び「明細書」



6. 换正の内容

〔1〕請求の範囲を別紙のとおり訂正する。

〔2〕明細書第6頁13行に「約250～約350μm(45—60メッシュ)」とあるを、『約250～約355μm(45—60メッシュ)』と訂

正する。

以上

別紙

〔請求の範囲〕

- 『 1. a) 中心の、丸味をおびたまたは球状のコア；
b) 水溶性ポリマーおよびイトラコナゾールのコーティングフィルム、
および
c) シールコーティングポリマー層、
を含んでなるペレット剤であって、コアが250～355μm (45～
60メッシュ) の直径を有することを特徴とするペレット剤。
2. ペレット剤の全重量に基づく重量%で、
a) 10～25%のコア物質；
b) 39～60%の水溶性ポリマー；
c) 26～40%のイトラコナゾール；および
d) 4～7%のシールコーティングポリマー、
を含んでなる請求項1に記載のペレット剤。
3. コア物質が250～355μm (45～60メッシュ) の糖のス
フェアーであり、そして水溶性ポリマーがヒドロキシプロピルメチルセ
ルロースである請求項2に記載のペレット剤。
4. イトラコナゾール：水溶性ポリマーの重量対重量比率が1：1～
1：2である請求項3に記載のペレット剤。
5. シールコーティングポリマーがポリエチレングリコールである請
求項2に記載のペレット剤。
6. a) 16.5～19%の糖のコア；
b) 43～48%のヒドロキシプロピルメチルセルロース 2910 5

mPa. s. 、

- c) 29~33%のイトラコナゾール；および
- d) 5~6%のポリエチレングリコール2000、
を含んでなる請求項3に記載のペレット剤。

7. 請求項1~6のいずれか一項に記載のペレット剤の抗真菌有効量
を含んでなる医薬投与製剤。

8. 製剤が硬質ゼラチンカプセル剤である請求項7に記載の製剤。

9. a) 250~355 μm (45~60メッシュ) の糖のスフェア
ーに、塩化メチレンおよびエタノールよりなる有機溶媒のイトラコナゾ
ールおよび水溶性ポリマーの溶液をWurster (底部噴霧) 装着物
を備えた流動床顆粒機中で噴霧することによって該スフェアをコ
ーティングし；

b) 得られたコーティングコアを乾燥し；そして

c) 乾燥コアに、塩化メチレンおよびエタノールよりなる有機溶媒のシ
ールコーティングポリマーの溶液をWurster (底部噴霧) 装着物
を備えた流動床顆粒機中で噴霧することによって該乾燥コアをシール
コーティングする、

ことを特徴とする請求項1~6のいずれか一項に記載のペレット剤の
製造方法。

10. 請求項9に記載の方法によって得られ得る薬物コーティングペ
レット剤。』